

知財セミナーのご案内



一色国際特許業務法人

「強いクレームとはなにか」 ～米国のデザインアラウンドにクレームの目利きを学ぶ～

2017年4月21日（金）

セミナー 13:30~17:40 / レセプション 17:40~19:30

このたび、[一色国際特許業務法人](#)、及び [Greer Burns & Crain](#) 特許法律事務所は、共同で知財セミナーを開催する運びとなりましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

言うまでもなく、特許権の権利範囲を規定する特許請求の範囲（クレーム）は、その権利範囲をなんとかかいくぐろうとする、あるいは権利自体を無効化しようとする他社の激しい攻撃にさらされます。このような攻撃に耐える強いクレームを起草（ドラフト）することは、知財実務家にとって永遠のテーマと言えましょう。本セミナーは、強いクレームとはなにか、そのヒントを演習も交えて実践的に体得していただこうと試みるものです。米国特許を例にとった権利範囲迂回策（デザインアラウンド、Designing Around）を教材といたしますが、日本はじめ、他の国の特許実務においても役立てていただける内容を目指します。

講師には、米国イリノイ州シカゴに本拠を置く Greer Burns & Crain 特許法律事務所の共同代表である Patrick G. Burns 米国特許弁護士、パートナーである B. Joe Kim 米国特許弁護士をお迎えし、まず実際の米国特許に関する侵害訴訟等の紛争事例を取り上げ、有効な米国特許に対するデザインアラウンドの手法について解説していただきます。その後、参加者の方々には、小グループに分かれていただき、比較的シンプルな米国特許を対象として、デザインアラウンドの実際を体験していただきます。最後に、講義と演習を踏まえ、Burns 弁護士、Kim 弁護士より強いクレームドラフティングについてのいくつかの指針を提示していただきます。講義は英語で行いますが、講義、演習を通じて、宮城三次弁理士（一色国際特許業務法人）が要所で日本語解説を加えることで、無理なくご理解いただけるように配慮いたします。

プログラム終了後、軽食をご用意してのレセプションを開催いたします。なお、講演およびレセプションの参加費は無料となっております。

お忙しい中とは存じますが、是非奮ってご参加ください。

参加お申込みに際しては、お名前、会社名、部署名、メールアドレス、レセプション参加の有無をご明記の上、seminar@issshiki.com 宛にご連絡ください。なお、お申し込み多数の場合は先着順とさせていただきますので、ご了承ください。

セミナープログラム

「強いクレームとはなにか」 ～米国のデザインアラウンドにクレームの目利きを学ぶ～

日程／会場	2017年4月21日（金）13:30～（受付は13:00開始） 一色国際特許業務法人 東京都港区三田3-11-36 三田日東ダイビル7階 （セミナーはセミナールームにて、レセプションはラウンジにて行います）
13:30 – 13:40	ご挨拶・講師紹介 一色健輔弁理士（一色国際特許業務法人代表）
13:40 – 15:00	『米国におけるデザインアラウンドに学ぶ』 Patrick G. Burns特許弁護士（Greer Burns & Crain特許法律事務所） B. Joe Kim特許弁護士（Greer Burns & Crain特許法律事務所） 概説：宮城三次弁理士（一色国際特許業務法人）
15:00 – 15:15	休憩
15:15 – 16:00	『デザインアラウンド演習』 「チーズ切り器（Cheese cutter）」の構造に関するシンプルな米国特許を題材に、4～5人の小グループに分かれていただき、クレーム回避策を話し合ってください。各グループには一色国際特許業務法人の弁理士がお世話役としてアattendいたします。討議後のグループ発表等は予定していません。
16:00 – 16:10	休憩
16:10 – 17:15	『強いクレーム・明細書を見極めるためのヒント』 Patrick G. Burns特許弁護士 B. Joe Kim特許弁護士 概説：宮城三次弁理士
17:15 – 17:40	Q&A
17:40 – 19:30	レセプション

*スケジュールは、当日の進行状況等に応じて多少前後することがございます。

参加お申込みに際しては、お名前、会社名、部署名、メールアドレス、レセプション参加の有無をご明記の上、seminar@isshiki.com宛にご連絡ください。なお、お申し込み多数の場合は先着順とさせていただきますので、ご了承ください。

事務所・講師紹介



Patrick G. Burns

米国イリノイ州シカゴにある知的財産を専門とする法律事務所 Greer Burns & Crain の創業共同経営者。米国特許弁護士。

連邦巡回控訴裁判所、連邦地方裁判所、国際貿易委員会などのさまざまな知的財産権紛争を含む訴訟を担当。日本企業とのビジネス経験も豊富。

知的財産権に関する様々な文献の著者、スピーカーとしても知られており、1994年から Designing Around' Valid U.S. Patents と題する Patent Resources Group (米国の知財教育団体) のセミナーで講師を務め好評を得ている。

1972年イリノイ大学卒業 (B.S. 電気工学)

1978年イリノイ工科大学 Chicago-Kent College of Law 修了 (J.D.)



B. Joe Kim

Greer Burns & Crain のパートナー。米国特許弁護士。

知的財産法、特に国内外の特許権利化業務に従事。担当技術は、コンピュータディスク装置、LCD パネル、コンピュータネットワークシステム、ソフトウェア、電動工具など多岐にわたる。特許侵害、権利の有効性、特許性の評価についても豊富な経験を有し、連邦巡回控訴裁判所、国際貿易委員会での訴訟経験多数。

1990年イリノイ大学 Urbana-Champaign 校卒業 (B.S. 電気工学)

1995年イリノイ工科大学 Chicago-Kent College of Law 修了 (J.D.)



宮城 三次

特許、実用新案、意匠、商標の出願代理、審判事件、鑑定書の作成等の業務を行う一色国際特許業務法人の弁理士。国際関係業務担当。

機械、コンピュータ関連、ビジネスソリューション等の分野における国内外の特許権利化業務に主に従事。

1981年慶應義塾大学卒業 (工学部機械工学科)。企業での技術者としての勤務を経て、2001年弁理士登録。その間一色国際特許事務所 (当時) より派遣され、Franklin Pierce Law Center (現 University of New Hampshire, Franklin Pierce Center of Intellectual Property) にて Master of Intellectual Property コース修了。日本知的財産翻訳検定試験委員。日本規格協会翻訳者登録制度判定委員。



アメリカ合衆国イリノイ州シカゴを本拠とし、個人、大学、中小企業から国際的に事業を展開する大企業まで、ニーズに応じてきめ細かいサービスを提供することをモットーとしている。米国内外における特許、商標、意匠等の権利取得、知財訴訟に経験を有する特許弁護士を擁し、近年ネットワークにおける模倣品販売サイト対策にも力を入れている。



一色国際特許業務法人

一色国際特許業務法人は、創業 40 年を超える歴史を有し、弁理士 22 名、総勢約 70 名の陣容を誇り、国内外の特許、実用新案、意匠、商標の出願代理をはじめ、審判・訴訟代理、鑑定書の作成等を行っている。取り扱う技術分野は、電気・電子、機械、化学、建築・土木、ソフトウェア、バイオ等、多岐にわたる。留学経験者を含む、高い英語能力を有する弁理士、スタッフを多数擁しており、外国案件を強みとする。